

## 平泉寺地区座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 7 月 16 日(金) 19:30～21:30

○と ころ:平泉寺公民館

○テ ーマ:第5次勝山市総合計画

○出 席 者:26名

◎第5次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>私は、中学校は大きな学校が良いと思う。専門の先生がいて、部活動も選べるという事は、中学校に行く段階では大事な事だと思っている。ただ、小学校については、特に平泉寺などの小さい学校では、授業についても先生が児童一人ひとりの顔が見られる。一人ひとりの学力に合わせた授業が行われていると思っている。</p> <p>豊かな自然を残していこうということが勝山市の方針であるならば、平泉寺小学校を広域通学モデル校として、どの校区からでも通える体制づくりができないか。小松市に先行例がある。</p> <p>また、中学校を一つにすることで、年間のイニシャルコストがどのくらい減らせるかはわからないが、そのお金で小中学生の医療費を無料にするとか、そういった使い方に変えていくようなことも考えながら、「子どもを育てるのなら勝山市に行こう」、「自然の中で教育を受けさせてやろう」と思えるような体制づくりを目指していただければと思う。</p>
Q2	<p>・以前は、平泉寺には農業環境の中で子どもを育てるという雰囲気があった。しかし、今の平泉寺小学校に通う自分の子どもの様子を見てみると、全国一律のカリキュラムで学校菜園や収穫感謝祭も下火になってしまったという感がある。農業を教えるような先生がいなくなっているのであれば、地域には教える人がたくさんいるのでその人たちの協力を得ればよいと思う。そのように特長のある小学校に作り変えていけば、もっと他から人が来るという可能性も出てくるのではないか。</p>
A1・2	<p>・小規模学校は家庭的で先生と子どもたちとのコミュニティが豊かであり、それに加えて地域の皆さんは学校への愛着があり支えてくださっている。小規模学校ゆえの良さもあると感じている。しかし、やはり複式学級は本来の姿ではないと思っている。複式についてはできるだけ早く解消しながら、子どもたちがもっと生き生きと学べ、社会性を身につけられる教育環境を提供したいと考えている。しかしながら、小学校の再編についてはゆっくりと時間をかけ、地域の意見を聞きながらやっていきたい。</p> <p>広域通学モデル指定校については、必ずしも平泉寺だけでなく、その他の小学校にも当てはまるかどうかの問題などをじゅうぶん検討する必要がある。いずれにしても、小学校の再編については、多角的に検討していく中で、地域のみなさんのお考えを十分反映していくというのが現状の考え方である。</p>
Q3	<p>・学校再編に関して、市民は、いきなり中学校が1校、小学校が3校になるとは思っていないと思う。ましてや平泉寺は市街地から遠いし、学校も無い、子どもを生む施設もない、医療機関もないところでお嫁さんなどは来ないのではないかと。直接再編に関わる次の世代は不安。市街地から遠いところについては、学校は残してほしい。</p>
Q4	<p>・小学校はいつまでに統廃合する予定なのか。</p> <p>・小学校がいきなり3つになることについて、自分たちへの説明より新聞に先に出たこ</p>

	<p>とについて憤りを感じる。</p> <p>・南谷の発掘調査のために、豪雨の時などは谷川の水が一気にあふれんばかりに流れてくる。石垣も崩れかかっているのが現状。平泉寺整備に伴う下水道整備の基本方針が決まっていると思うが説明がない。</p>
A3・4	<p>・勝山の社会保険病院の存続については、市としても強く働きかけているところ。</p> <p>・中学校1校、小学校3校は、いま速やかに実施するというではない。小学校の再編については、その進め方、中身については柔軟に、いろんな形があると思っている。総合計画の中でできるだけ明確に落とし込んでいきたいが、それぞれの地域の特徴や、その時点での子どもの数などいろいろ考えなくてはならない。しかしながら、10～15年先の推計では子どもの数は大きく減っていくという推計が出ている中で、地域のみなさんとしっかりと話し合っていきたいと考えている。</p>
A4	<p>・南谷の発掘調査について、5カ年計画で整備している。一番上のほうに池があるが、その下の田んぼを整備して、大雨の対策として貯水池の役割をするような整備を進めている。その下の水路も本年度改良を予定している。大雨の時の大水の解消に当たっている。</p>
A4	<p>・上下水道については、これまで、国史跡に指定されている関係などでなかなか工事ができない状態であった。いまようやく進み始めたところである。</p> <p>上水道については、すでに赤尾の排水地のの上流側に新排水地を計画しており、そこから平泉寺区へ水を給水する工事をすでに着手している。平成22年度中には工事を完了する予定である。</p> <p>下水道については、ある建設会社のところまで管路が上がってきている。一方、平泉寺荘側からバイパスをあげる管路敷設工事もうすでに発注した。加えて、平泉寺ガイダンス施設工事も発注されている。また、通称「谷川」の改修についても測量が終わって、現在設計業務にかかっている。どのような改修をしていくか近々地元説明する。地区との合意がなされれば、平成23年には工事に着手できる。</p>
A3・4	<p>・今回の素案は、地区別座談会で意見をいただくための、あくまでたたき台としてお示ししている。現時点において、小学校を何年までに3校にすると決まっているわけではない。</p> <p>また、マスコミ報道を見て初めて知ったということについては、地区別座談会について一時にすべての地区で出来るわけではなく、マスコミに報道をお願いする、またホームページに掲載するなどの形で、同じタイミングで市民のみなさまに広くお知らせをして、そして地区別座談会における議論の下準備をしていただくという考え方を持っていた。しかし、マスコミへの発表などが先行し、市民のみなさんへの直接の説明が後のなったということについてお叱りをいただいている。このあたりについて今後どうするかじっくり検討していきたい。</p>
Q5	<p>・北部中学校の部活動の状況は、20年以上も前から何も改善されていない。学校別にこだわらなくてはいけない理由は分からないが、もし、野球ができないのなら、例えば他校区の子どもを中部中学校に入れてもらうようなシステムも考えていくべきではないか。</p> <p>また、保育園のように、学区を取り払うというのは不可能なのか？地域柄を重視して広域での教育を売りにするのも良いのではないか。小さな小学校でもその特色を前面</p>

	<p>に押し出して、福井や石川、中部圏からも来てもらえるようなことなど、考え方を切り替えることもいいのではないかな。</p>
Q6	<p>・勝山市は「小さくてもキラリと光る」を目標にされているが、勝山はすでに小さくてもきらりと光っていると思う。そんなに悲観的にならなくてもいいのではないかな。</p> <p>また、「誇りと活力に満ちたふるさと勝山」については、子ども達や若い人たちがどんどん育って、ここから、いい人材を都会へ出していくというように、巣立つ世代に託しても良いのではないかな。</p> <p>「長期的展望に立ったまちの実現」については、今回小学校を統廃合されてしまうと、勝山の良さが無くなってしまい福井と変わらなくなってしまいうよう残念だ。</p> <p>どこにでもあるような学校体制ではなく、ちょっと冒険になるかもしれないが、他にない特色あるまちづくり、学校づくりもいいのではないかなと思う。</p>
Q7	<p>・先ほどの、中部中学校へ部活動をしに行くということだが、ほかの学校で部活をすることになると、中体連などの大会に出られなくなってしまうという現状がある。それをやるのなら、国、県や大会自体のシステムを変えなければいけない。学校の先生はやりたいたいと思っているが、その点がネックになっているようだ。</p> <p>今の平泉寺小学校の先生方は一生懸命やっているが、ほかの地区から来た先生方にすべてを託すというのはなかなか厳しい。学校の先生というのは本来、勉強を教えるというのが本職。地区と連携してというのは、平泉寺を知らない他の地区から来た先生にとってはプレッシャーになるらしく、そのような現状もあって、今うまくいっていない一面もあるのかなと思う。</p> <p>小さい学校は嫌だからといって大きい学校のある地区に行ってしまう話も聞く。そういうのは悔しいところではある。</p> <p>8月4日に平泉寺小学校区の座談会があると聞いた。この場に来なければ知らなかった。座談会の周知徹底をしてほしい。</p>
Q8	<p>・21世紀は観光がもっとも重要な産業だといわれている。これからはこころの豊かさを求める観光が大切。発掘現場を見たら村の中を歩いていただきたい。景観整備についても、昔ながらの石垣、家の風景を残しながら進めていってほしい。</p> <p>年に2回、町民上げて平泉寺白山神社のボランティアをしているが、地域の人も収益がでるようなことを考えていかなくてはいけないと思っている。観光産業は、食、宿泊などいろんな生業ができるので、その方向で進めていただければと思う。</p>
Q9	<p>・根本的には、平泉寺地区をどう振興していくか。平泉寺は、恐竜博物館以上の観光価値があるというエージェントもいる。また、平泉寺に多いのは森林である。世界的にも森林が少なくなっている。森林の価値が上がっている。このような中で、平泉寺の森林も寂れてきているが、もう一度再生させる。</p> <p>また、循環型農業の推進によって、おいしいものを安全に供給できる可能性がある。うまく農畜産物の販売をすれば、100人が働ける。</p> <p>そのような環境を町民自らが見出して、その上で市にもバックアップしていただくようなことをしていきたい。</p>
A6・7・8・9	<p>・20年前から北部中では部活動の数が少なかったという声があったが、これから先10年、15年となると部活動はもっと難しくなる。また、専任の教師がいない。いまも免許外の教師が兼ねてやっているのが現実である。したがって、今よりもっと教育環境を整</p>

	<p>えていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校については、勝山ならではの小さくてもきりと光るような学校、特色ある学校、しかも広域的な受入体制を整えてということは非常にすばらしい考え方である。しかしこれも勝山1市だけでできるものではない。県や文科省の考え方もある。そのようなことも踏まえ、勝山の教育について考えていきたい。</li> </ul> <p>なお、小学校にも保育園にも行っていない子の親を含めた保護者を対象に8月4日に平泉寺でPTAを中心にした座談会を開く。チラシなどでじゅうぶんPRしたい。</p>
<p>A (全体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山の活性化ということで、観光産業についてのご意見をいただいた。まちなか誘客元年ということであるが、恐竜博物館などに来館する40～50万人の観光客を活用した経済効果もたらされていないのではないかとのご意見も頂いている。第5次総合計画の中にしっかりと位置づけて取り組んでいきたい。</li> <li>・勝山市は、第3次産業であるサービス産業の人口が増えている。頑張っているそれぞれの産業、商業単位をしっかりとコーディネートしていく体制を整えたい。例えば高齢者なども巻き込んだ形でまちづくり会社のようなものを構築できないか考えていきたい。それは市が補助金だけでなく、人的な面でもサポートが必要だと考えている。そういった仕組みづくりに向けて新年度に向かって、しっかりとした形を作っていきたい。</li> <li>・学校再編は、決して合理化、行財政改革のために行うのではなく、あくまでも子どもたちの教育環境を良くするというのがスタンス。スクールバス、学校の取り壊しなどを含めると、かえってここ5～10年は余計にお金がかかることになる。</li> <li>・広域通学モデル校の話については、以前から平泉寺区からご意見をいただいているが、これは市全体の理解の中で進めていく必要がある。さまざまな問題が出てくるので、今後研究していきたい。</li> </ul>

以上